

< Windows全般 >

- [< Windows全般 >](#)

- [ショートカット作成時に「へのショートカット」を省く](#)
- [ショートカットのリンク先にファイルが存在しない場合の自動検索を無効にする](#)
- [終了オプションにスタンバイと休止状態を両方を表示する。 2011-12-11](#)
- [電源を切る、再起動、ログオフ、スタンバイ、休止状態のショートカット作成 2006-10-30](#)
- [ShutDown ver 1.40 でスタンバイと休止状態のそれぞれのショートカットを作成する](#)
- [UWSCで電源を切る、再起動、ログオフ、スタンバイ、休止状態にする](#)
- [アイドル時のHDD最適化（デフラグ）を無効にする。](#)
- [NTFSの暗号化を無効にする 2006-10-31](#)
- [デスクトップのクリーンアップを無効にする 2006-07-04](#)
- [デスクトップのクリーンアップの実行間隔を変更する 2006-07-04](#)
- [レジストリエディッタ用お気に入りの保存先 2006-10-28](#)
- [ctfmon（テキストサービス）の自動起動を無効にする 2006-10-31](#)
- [Windowsのイベント音（起動音、終了音など）をレジストリで変更する 2006-10-31](#)
- [スタンバイへ移行出来ない（失敗する） 2011-10-10](#)

- [Windowsをカスタマイズのメニューへ戻る](#)

ショートカット作成時に「へのショートカット」を省く

- ショートカット作成時に「～へのショートカット」が邪魔！と思う方にオススメ。

設定前の注意点

手順が全て終わるまでショートカットを作成しないでください。
作成すると元のデータで上書きされ、設定が反映されません。
もしも作成してしまった場合は最初からやり直してください。

設定方法

レジストリエディッタでの設定が面倒という方は [link.zip](#) をどうぞ。

ログオフして、ログオンし直す。

- 何かのショートカットを作成後に結合しても反映されないことがあるので、念のためにログオフ ログオンを行ってください。
Windowsの起動直後（ログオン直後）なら行わなくてもいいです。

レジストリエディッタを起動し、下記キーを開く。

HKEY_CURRENT_USER \ Software \ Microsoft \ Windows \ CurrentVersion \ Explorer

「link」をダブルクリックで開き（存在しない場合は[バイナリ値]で作成する）、「値のデータ」を 00 00 00 00 に変更して [OK] ボタンをクリック。

レジストリエディッタを閉じる。
ログオフして、ログオンし直すと設定が反映されます。

元に戻すには「値のデータ」を 15 00 00 00 にする。
「値のデータ」の 15 の部分について、値を開いたときの元のデータが 19 または 1e だったりしますが、Windowsの初期値が 15 00 00 00 となっているので元に戻す際は 15 00 00 00 で良いです。また、元に戻してログオフ ログオン後に同値を参照すると、例えば 17 00 00 00 というデータに変化してたりしますが、異常ではありませんので、そのままにしておいて大丈夫です。

[このページのTopへ](#)

ショートカットのリンク先にファイルが存在しない場合の自動検索を無効にする

- ショートカットのリンク先が存在しない場合にWindowsが自動検索してくれますが、基本的に検索を中止（キャンセル）する方にオススメ。

設定方法

レジストリエディッタでの設定が面倒という方は [noresolve.zip](#) をどうぞ。

レジストリエディッタを起動し、下記キーを開く。
HKEY_CURRENT_USER \ Software \ Microsoft \ Windows \ CurrentVersion \ Policies \ Explorer

[編集] [新規] [Dword値] を選択、名前を NoResolveTrack にする。
作成した「NoResolveTrack」をダブルクリックで開き、[値のデータ]を 1 に書き換え [OK] ボタンをクリック。

[編集] [新規] [Dword値] を選択、名前を NoResolveSearch にする。
作成した「NoResolveSearch」をダブルクリックで開き、[値のデータ]を 1 に書き換え [OK] ボタンをクリック。

レジストリエディッタを閉じる。
Windows再起動後に設定が反映されます。

元に戻す（検索を有効にする）には追加した2つを削除してください。

[このページのTopへ](#)

終了オプションにスタンバイと休止状態を両方を表示する。 2011-12-11

設定方法

レジストリエディッタでの設定が面倒という方は [shutdown.zip](#) をどうぞ。

レジストリエディッタを起動し、下記キーを開く。

HKEY_LOCAL_MACHINE \ SOFTWARE \ Policies \ Microsoft \ Windows \ System \ shutdown

[編集] [新規] [Dword値]を選択、名前を にする。

ShowHibernateButton

作成した「ShowHibernateButton」をダブルクリックで開き、[値のデータ]を 1 に書き換え [OK] ボタンをクリック。

レジストリエディッタを閉じる。

Windows再起動後に設定が反映されます。

元に戻す（検索を有効にする）には追加した「ShowHibernateButton」を削除してください。

[このページのTopへ](#)

電源を切る、再起動、ログオフ、スタンバイ、休止状態のショートカット作成 2006-10-30

作成方法

「電源を切る」のショートカット作成方法

デスクトップの何も無いところを右クリック。

メニューの [新規作成] [ショートカット] と選択する。

[項目の場所を入力してください]に

shutdown -s -f -t 0

をコピーし、[次へ] ボタンをクリック。

[このショートカットの名前を入力してください]にショートカット名（好きな名前でもいい）を入力して [完了] ボタンをクリック。

「電源を切る」ショートカット以外は下記表を参考にどうぞ。

上記コマンドを利用したスタンバイ（休止状態）のショートカットは「電源オプション」「休止状態」の設定に左右され、有効なら休止状態、無効ならスタンバイになります。

スタンバイと休止状態を併用するには[終了オプションにスタンバイと休止状態を両方を表示する](#)を適用してください。

「rundll32.exe powrprof.dll,SetSuspendState」や「[ShutDown ver 1.40](#)」でスタンバイ状態にするとTV録画系ソフト等のスタンバイから復帰して動作するソフトでは復帰に失敗し（タスクスケジューラーが効かない）、録画予約等が正常に行われませんので注意してください。

[UWSCの電源終了スクリプト](#)を利用すればWindowsの終了オプションからスタンバイにしたときと同様にタスクスケジューラーが有効な状態でスタンバイ（スリープ）状態になりますので録画系ソフトを利用される場合は[UWSC（スクリプト）](#)をオススメします。

ショートカット名	項目の場所
電源を切る	shutdown -s -f -t 0
再起動	shutdown -r -f -t 0

ログオフ shutdown -l -f
スタンバイ（休止状態） rundll32.exe powrprof.dll,SetSuspendState

アイコン

ショートカットのアイコンをWindows標準のと同じものにしたい方は [powericon002.zip](#) をどうぞ。
(8bitカラーアイコンやSSから作成したので”無いよりまし”な程度です。)

[このページのTopへ](#)

ShutDown ver 1.40 でスタンバイと休止状態のそれぞれのショートカットを作成する

- この項目だけはWindowsのレジストリ書き換えによるカスタマイズではありません。
- 通常状態ではそれぞれ独立したショートカット作成が困難（「電源オプション」の設定に左右される）ため、ソフトを利用するしかないようです。
- 「rundll32.exe powrprof.dll,SetSuspendState」や「[ShutDown ver 1.40](#)」でスタンバイ状態にするとTV録画系ソフト等のスタンバイから復帰して動作するソフトでは復帰に失敗し（タスクスケジューラーが効かない）、録画予約等が正常に行われませんので注意してください。

[UWSCの電源終了スクリプト](#)を利用すればWindowsの終了オプションからスタンバイにしたときと同様にタスクスケジューラーが有効な状態でスタンバイ（スリープ）状態になりますので録画系ソフトを利用される場合は[UWSC（スクリプト）](#)をオススメします。

「ShutDown ver 1.40」を利用する 2007-05-06

1. [c.mosのホームページ](#) Free Software （デスクトップに+ShutDownボタンを）
ShutDown ver 1.40 をダウンロードする。
2. ダウンロードしたファイルを展開し、適当なフォルダ（ディレクトリ）に移動する。
ShutDown.exe を直接実行すると再起動になるので注意。
3. 休止状態のショートカットをデスクトップに作成するには hibernate.vbs を実行。
4. スタンバイの “ standby.vbs を実行。

その他の説明は同梱されている ShutDown.txt を参照してください。
ショートカットを作成後、ShutDown.exeを別のフォルダ（ディレクトリ）へ移動した場合はショートカットが無効になるのでショートカットのプロパティでリンク先を変更するか、ショートカットを作り直してください。

[このページのTopへ](#)

UWSCで電源を切る、再起動、ログオフ、スタンバイ、休止状態にする

1. [UWSC](#)をインストール（好きな場所に解凍してください）

- シェアウェア版ではなく、UWSC Free版でいいです。
2. UWSファイルをUWSCに関連付けするには[こちら](#)または[こちら](#)を参考にしてください。
 3. [UWSC終了オプション詰め合わせ](#)をダウンロードし、必要なスクリプトファイルを利用してください。
- 関連付けが正常に行われているならスクリプトファイルはどこに置いても動きます。
「スタンバイ.uws」「スリープ.uws」「休止状態.uws」を併用するには[終了オプションにスタンバイと休止状態を両方を表示する](#)を適用してください。

[このページのTopへ](#)

アイドル時のHDD最適化（デフラグ）を無効にする。

- そのままです。アイドル時のデフラグを無効にする設定です。

設定方法

レジストリエディッタでの設定が面倒という方は [enable_auto_layout.zip](#) をどうぞ。

レジストリエディッタを起動し、下記キーを開く。

HKEY_LOCAL_MACHINE \ SOFTWARE \ Microsoft \ Windows \ CurrentVersion \ OptimalLayout

[編集] [新規] [Dword値] を選択し、名前を にする。

EnableAutoLayout

作成した「EnableAutoLayout」をダブルクリックで開き、[値のデータ]を 0 に書き換える。

レジストリエディッタを閉じる。

Windows再起動後に設定が反映されます。

有効にするには [値のデータ] を 1 に書き換える。

[このページのTopへ](#)

NTFSの暗号化を無効にする 2006-10-31

- この機能を利用していない場合無効にしていいです。（これを利用している人って殆どいないと思う）

設定方法

レジストリエディッタでの設定が面倒という方は [efsconfiguration.zip](#) をどうぞ。

レジストリエディッタを起動し、下記キーを開く

HKEY_LOCAL_MACHINE \ SOFTWARE \ Microsoft \ Windows NT \ CurrentVersion \ EFS

[編集] [新規] [Dword値] を選択し、名前を にする。

EfsConfiguration

作成した「EfsConfiguration」をダブルクリックで開き、[値のデータ]を 1 に書き換え [OK] ボタンをクリック。

レジストリエディッタを閉じる。

Windows再起動後に設定が反映されます。

元に戻す（有効にする）には「EfsConfiguration」を削除してください。

[このページのTopへ](#)

デスクトップのクリーンアップを無効にする 2006-07-04

- デスクトップに作成したショートカットを対象に60日間使用されていないものを自動的に「使用していないショートカット」フォルダへ移動させる [デスクトップのクリーンアップ] 機能を無効にする方法。

設定方法

レジストリエディタでの設定が面倒という方は [no_desktop_cleanup_wizard.zip](#) をどうぞ。

レジストリエディタを起動し、下記キーを開く。

HKEY_CURRENT_USER \ Software \ Microsoft \ Windows \ CurrentVersion \ Policies \ Explorer

[編集] [新規] [Dword値] を選択し、名前を にする。

NoDesktopCleanupWizard

作成した「NoDesktopCleanupWizard」をダブルクリックで開き、[値のデータ] を 1 に書き換え [OK] ボタンをクリック。

[F5] キーを数回押して（レジストリを更新して）からレジストリエディタを閉じる。

[画面のプロパティ] の [デスクトップ] タブにある [デスクトップのカスタマイズ] ボタンをクリックし、[デスクトップのクリーンアップ] が無いのを確認する。消えていない場合は、Windowsを再起動すれば消えます。

元に戻すには [値のデータ] を 0 に書き換えるか、「NoDesktopCleanupWizard」を削除してください。

[このページのTopへ](#)

デスクトップのクリーンアップの実行間隔を変更する 2006-07-04

- の設定でデスクトップのクリーンアップを無効にしている場合は意味がありません。

設定方法（例は100日に変更）

レジストリエディタを起動し、下記キーを開く。

HKEY_CURRENT_USER \ Software \ Microsoft \ Windows \ CurrentVersion \ Explorer \ Desktop \ Clea

[編集] [新規] [Dword値] を選択し、名前を にする。

Days between clean up

作成した「Days between clean up」をダブルクリックで開き、[値のデータ] を 100 に書

き換え [OK] ボタンをクリック。

[F5] キーを数回押して (レジストリを更新して) からレジストリエディッタを閉じる。
Windows再起動後に設定が反映されます。

元に戻すには [値のデータ] を 60 にしてください。

[このページのTopへ](#)

レジストリエディッタ用お気に入りの保存先 2006-10-28

- IEの「お気に入り」と同様にレジストリエディッタにもレジストリキー用の「お気に入り」があります。
その保存先レジストリキーです。

レジストリエディッタ用お気に入りの保存先

HKEY_CURRENT_USER \ Software \ Microsoft \ Windows \ CurrentVersion \ Applets \ Regedit \ Favo

[このページのTopへ](#)

ctfmon (テキストサービス) の自動起動を無効にする 2006-10-31

- 音声認識や手書き認識を利用しないなら不要な機能です。
ボイスチャット (TS2) の音声認識会話とは全く関係ありません。
- また、[この機能に対応しているアプリケーションも殆ど存在しないらしく、不具合も多い。](#)

設定方法

[コントロール・パネル] [地域と言語のオプション] を起動する
[言語] タブにある [テキストサービスと入力言語] の [詳細(D)] ボタンをクリックすると「テキストサービスと入力言語」が起動する。
[詳細設定] タブにある [詳細なテキストサービスをオフにする] にチェックを付ける。
[OK] ボタンをクリック [OK] ボタンをクリック。

[このページのTopへ](#)

Windowsのイベント音 (起動音、終了音など) をレジストリで変更する 2006-10-31

- 一度設定しまえば殆ど変更することが無い設定なのでレジストリエディッタで変更する必要は特にありませんが、自環境の設定をエクスポート (regファイル化) することによって、OSを再インストールしたり、別のPCに同じ設定を適用する際に便利です。

イベント音の設定保存先レジストリ

HKEY_CURRENT_USER \ AppEvents \ Schemes \ Apps \ .Default

Windowsのイベント音を全て「(なし)」にするregファイル [event_nosound.zip](#)

[このページのTopへ](#)

スタンバイへ移行出来ない(失敗する) 2011-10-10

- 「コンピュータは、'Logitech HID Device' デバイスのデバイス ドライバのためにスタンバイ状態に入ることができません。アプリケーションをすべて終了して、やり直してください。問題が解決されない場合は、このドライバの更新が必要になる場合があります。」というメッセージが表示され、スタンバイにすることが出来ない場合の対処方法。

対処方法 (Windows XP SP3 での手順です)

1. デバイスマネージャーを開く
(スタート ファイル名を指定して実行 DEVMGMT.MSC と入力して「OK」)
2. 「キーボード」をダブルクリック (左側の + をクリック でもOK)
3. 展開された項目の中にLogitech (Logicool)製のデバイスがあればそれをダブルクリックし (または右クリック プロパティ を開き)、 「電源の管理」タブを選択し、 「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックを外し、「OK」をクリック。
4. 上記と同様に「マウス」についても「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックを外し、「OK」をクリック。
5. デバイスマネージャーを閉じ、Windowsを再起動する。

[このページのTopへ](#)
